

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会の実施について（報告）

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会規程第3条第1項の規定に基づき、令和元年度第1回和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会を実施しましたので、以下のとおり報告します。

1. 開催日時 令和元年8月9日（金） 14時～17時
2. 場 所 和歌山県立医科大学 管理棟2階 特別会議室
3. 出席委員 委員長 山口 悦子（大阪市立大学）
副委員長 中川 利彦（パークアベニュー法律事務所）
委員 石井 浩子（NPO 法人いきいき和歌山がんサポート）
4. 院内出席者 病院長・管理者 山上 裕機
医療安全管理責任者・副院長 中尾 直之
医療安全推進部長 水本 一弘
医薬品安全管理責任者・薬剤部長 岩城 久弥
臨床工学センター工学技士長 中村 一貴
事務局次長（病院担当） 松尾 孝志
救急・集中治療医学講座准教授 上田健太郎
高度救命救急センターHCU 師長 日置 真弓
医事課医事管理班長 楠本 秀行
医事課医事管理班主査 橋本桂唯子
中央検査部技師長 大石 博晃
5. 議事次第（1）委員長選出
（2）かかりつけ患者の急変時の対応について
（3）中央検査部の安全対策について
6. 監査結果
（1）全体の感想
 - ・ 人間の心理や行動にかなった細やかでネットワークのよい親切的な対策を取られていて感心した。
- （2）かかりつけ患者の急変時の対応について
 - ・ 歴代の院長のリーダーシップと明確なビジョンにより、かかりつけ患者だけではなく、地域の患者を病院組織全体で診ていこうという組織文化が作られており、診療科間のコンフリクトが起こった時も合議制で公正に決断が行われるなどシステムが確立されていることに感心した。
 - ・ 欲を言うならば、休日や夜間、連休中などにMSWや地域連携のサポートが得られな

い時に、医師や看護師の事務作業の負担を軽減できるように検討してほしい。

(3) 中央検査部の安全対策について

- ・ マニュアルはすばらしかった。また、スマホを使って照会をした方が患者のためになるということをみんなが理解して進められているところがすばらしいと思った。
- ・ 病理の部屋を見学させていただいたが、部屋が狭く何人も入室して後進の指導をすることが難しいというお話があったため、誤認防止とは関係がないかもしれないが、労働環境のことが気になった。

和歌山県立医科大学附属病院医療安全監査委員会

委員長 山口悦子